

4. モニーツアーによるモデルコースと受入状況の検証

4-1 奄美大島・喜界島のモニーツアーの催行

(1) 奄美大島・喜界島のモニーツアーの考え方

奄美大島と喜界島を訪問先とするモニーツアーについて、令和2年度事業と本事業の現地調査の結果を反映させる旅程を検討した。

奄美大島では世界自然遺産の動植物に触れることができるエコツアーと人気のあるアウトドアアクティビティおよび、集落散策を取り入れることを試みた。喜界島ではサンゴ礁をテーマに科学的、文化的な切り口のコンテンツを組み込み、体験を通して往訪先の島の人と接する着地型観光について、ユニバーサルツーリズムにおける可能性を検証することをあわせて実施した。

(2) モニーツアーの実施概要と実施旅程

以下にモニーツアー（奄美大島・喜界島）の実施概要と実施旅程を示す。

- ①催行日時: 令和4年2月21日(月)～2月24日(木) 3泊4日
- ②参加者発地: 鹿児島市内、奄美大島
- ③参加者: 鹿児島県内在住の車いす利用者(両足麻痺)、車いす利用者の介助者(家族)、保健福祉有識者(理学療法士)、事務局 各1名
上記参加者の加え、都内のユニバーサルツーリズム関連の旅行会社の参加を予定していたが、コロナ禍のため首都圏からの参加を差し控え、アドバイスを仰ぐものとした。
- ④検証方法: 島内移動は、レンタカー利用とし、通常の観光利用に近い移動手段を採用。宿泊は、民間の宿泊施設を利用し、サイトにバリアフリールームの掲載がある場合は、その部屋を利用し、ない場合は、事前に車いす利用者の意向や要望を宿泊施設に伝えて対応を依頼。
- ⑤モニーツアー実施旅程: 次ページに示すとおり。

なお、モニターとして参加した車いす利用者は、両足に麻痺があるものの、基礎体力のある男性のため、上り勾配のスロープの移動や上限 10cm程度の段差は、自力で車いすを操作してクリアすることができたが、障がいの重さや基礎体力は人それぞれのため、本事業のモニーツアーで示した結果が、総ての車いす利用者には当てはまるものではない点は留意が必要となる。

奄美大島・喜界島モニターツアー旅程(実施内容)

		時刻		行動予定	備考
		(発)	(着)		
Day1 2/21 (月)	移動	10:20	11:20	1:00 鹿児島→奄美大島(JAL3727)	鹿児島発
		11:20	12:00	0:40 笠利町内の飲食店へ移動	
	昼食	12:00	13:30	1:30 鶏飯の昼食～天気良ければ海岸散策	
	移動	13:30	14:15	0:45 龍郷町秋名集落へ移動	
	観光	14:15	16:00	1:45 荒波のやどり集合～秋名の集落散策	集落ガイド同行
	移動	16:00	17:00	1:00 名瀬のホテルに移動	途中、大熊展望広場に立ち寄り
	休憩	17:00	18:30	1:30 チェックイン、休憩	
	移動	18:30	18:45	0:15 飲食店へ移動	
	夕食	18:45	21:00	2:15 名瀬の飲食店で夕食	
	移動	21:00	21:15	0:15 ホテルへ移動	
Day2 2/22 (火)		9:00	9:00	0:00 ホテル出発	
	移動	9:00	10:00	1:00 マングローブパークへ移動	
	観光	10:00	11:30	1:30 マングローブカヌー体験	
	移動	11:30	12:15	0:45 古仁屋へ移動	
	昼食	12:15	13:45	1:30 昼食	
	観光	13:45	17:15	3:30 ホノホシ海岸、油井岳展望台等ドライブ	
	移動	17:15	18:00	0:45 マングローブパーク駐車場へ移動	
	観光	18:00	20:30	2:30 認定エコツアーガイドのエコツアー	
	移動	20:30	21:15	0:45 名瀬に移動	
	夕食	21:15	22:00	0:45 名瀬で弁当を購入	まん延防止等重点措置期間中のため
移動	22:00	22:30	0:30 ホテルへ移動		
Day3 2/23 (水)	移動	8:00	9:15	1:15 ホテル出発、奄美空港へ移動	
		9:15	9:55	0:40 搭乗準備	
		9:55	10:15	0:20 奄美大島→喜界島(JAL3831)	
		10:15	10:30	0:15 ホテルへ移動	
	観光	10:30	11:30	1:00 ホテル客室、浴室の利用方法確認	
	移動	11:30	12:00	0:30 喜界町農産物加工センターへ移動	
	昼食	12:00	13:30	1:30 ゆいカフェで昼食、買い物	
	移動	13:30	13:45	0:15 大ガジュマルへ移動	
	観光	13:45	14:15	0:30 大ガジュマルを鑑賞、撮影	
	移動	14:15	15:00	0:45 黒糖焼酎の酒造へ移動	途中、車内から島内観光
	観光	15:00	16:45	1:45 黒糖焼酎の酒造の工場見学	
	移動	16:45	17:00	0:15 ホテルへ移動	
	休憩	17:00	17:45	0:45 ホテルにチェックイン、休憩	
	移動	17:45	18:00	0:15 湾の飲食店へ移動	
夕食	18:00	20:00	2:00 湾の飲食店で夕食		
移動	20:00	20:15	0:15 ホテルへ移動		
Day4 2/24 (木)		10:00	10:00	0:00 ホテル出発	
	移動	10:00	10:30	0:30 喜界島サンゴ礁科学研究所へ移動	
	観光	10:30	11:45	1:15 喜界島サンゴ礁科学研究所見学	
	移動	11:45	12:00	0:15 集落のスーパーへ移動、弁当購入	
	昼食	12:00	13:30	1:30 阿伝集落の公園で昼食	
	観光	13:30	14:45	1:15 阿伝集落の集落あるき	エコツアーガイド同行
		14:45	15:30	0:45 百之台～一本道～東経130度線をドライブ	利用航空便遅れによる旅程変更
	移動	15:30	16:10	0:40 喜界空港へ移動	
		16:10	16:45	0:35 喜界空港、搭乗手続き等	
16:45		17:50	1:05 喜界島→鹿児島(JAL3784)	鹿児島帰着	
16:50		17:10	0:20 喜界島→奄美大島(JAL3836)	奄美大島帰着	

(2) モニターツアーの実施状況

奄美大島と喜界島のモニターツアーは、3泊4日の旅程中、1～2日目の奄美大島が強風と気温の低い小雨混じりの曇天、3日目の喜界島は雨天であった。特に3日目の喜界島は、雨が激しく、午後の集落あるきを4日目の酒造見学と入れ替えた。以下に主要な往訪先とツアー催行状況を示す。

なお、宿泊や島内および島間の移動、車いす対応のトイレ等のユニバーサルツーリズムの課題は、「4-3 モニターツアーによる検証結果」にまとめて記載する。

① 奄美空港～昼食(1日目/奄美大島)



奄美大島の島内移動は乗用車を利用し、車いすは折りたたんで自動車に積み込んだ。



入口のスロープの滑り止めの段は車いす利用時には衝撃になってしまう。海岸までの通路は段差や砂地が混在し、車いす利用者には介助者が必要であった。海岸に降りるスロープはあるが、砂上の車いす移動が難しいため、階段の踊り場から海を眺めることとなった。

② 秋名集落～大熊展望公園(1日目/奄美大島)



集落あるきでは、集落内の舗装路は比較的スムーズに移動できた。平坦な未舗装部分も車いすの移動はできるが、階段は難しい。高台にある対象物は、離れて見ることで全体を把握することができる。



展望台からの眺望は、手すりが車いす利用者の視線ギリギリの高さになっている。

③ マングローブカヌー(2日目/奄美大島)



車いす用の栈橋から男性3名が介助し、カヌーに乗り換える。カヌー乗船後はスムーズに観光を楽しむことができた。

④ ホノホシ海岸～マネン岬展望広場(2日目/奄美大島)



海岸の展望台までの園路は勾配がきつい。車いすでは海岸まで降りることができないため、展望台からの眺望になる。トイレの入口全体がスロープになっているため、扉の開閉時に車いすが下がってしまう。スロープ上部に車いすで乗ることができる平坦な床面があると利用しやすくなる。



スロープの勾配が緩く、上りやすさに配慮されているため、通路の延長が長くなっている。手すりの高さが車いす利用者の目線の高さに近く、手すりの隙間から風景を見ることがになってしまう。

⑤ 油井岳展望台(2日目/奄美大島)



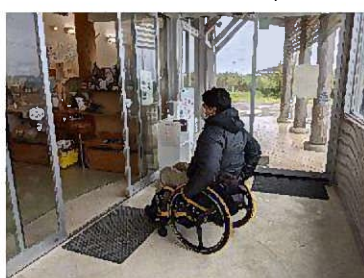
ベンチのある視点場に至る園路は段差が多く、階段を上る際は、介助者が非常に苦労した。芝生から園路に戻る時の、コンクリートの境界も乗り越える際に苦労する。眺望が良い場所だけに車いす利用者が容易にアクセスすることができるような再整備が行われると良い観光スポットになると思われる。

⑥認定ガイドによるナイトツアー(2日目/奄美大島)



エコツアーガイドの自動車に同乗し、夜の林道の動植物を観察するツアーは、自動車への乗り込みが可能な車いす利用者であれば通常のエコツアーを楽しむことができる。奄美群島のユニバーサルツーリズムでは、重要な観光コンテンツになることが期待できる。

⑦農産物加工センター、ゆいカフェ～大ガジュマル(3日目/喜界島)



駐車場から施設内までスムーズな移動ができ、車いすに対応したトイレもある。特産品を使った飲食物販も行っており、喜界島のユニバーサルツーリズムでは、外すことができない施設と位置付けられる。



大ガジュマルは、駐車スペースからベンチとあずまやまで、段差がなくスムーズに移動できる。ベンチからガジュマルの全容を見ることができ、道路沿いまで近づくことは可能。

⑧黒糖焼酎の酒造見学(3日目/喜界島)



黒糖焼酎の酒造見学は、喜界島および奄美群島の産業に触れることができる重要なコンテンツである。見学先は工場なので、床の段差等は介助者が車いすの操作を補助したが、内部空間は広いので、段差をクリア後は、工場内を動きながら見学ができた。



車いす利用者の視点は低いいため、高い位置にある設備類の見学は難しいが、原材料の黒糖の試食や製造に使う米の種類サンプルと黒糖焼酎の製造工程の写真資料等で説明は分かりやすい。見学時に購入できる原酒もあり、翌日、酒造の事務所で買い物を楽しむことにつながった。

⑨サンゴ礁科学研究所(4日目/喜界島)



廃校を活用している施設のため、入口の段差は大きなネックになる。利用時に設置する簡易なスロープがあると入りやすくなる。施設内の展示は、高さや見やすさ、専門的な知見を持つスタッフの説明等、非常に分かりやすい。施設のトイレは小学校当時の古いトイレのため、車いすに対応しておらず、近くの公園のトイレを利用することになる。

⑩阿伝集落あるき(4日目/喜界島)



集落内部の道路は平坦なため、車いす利用者が介助なしで集落あるきを楽しむことができる。未舗装の古道は、介助者が必要になるが、阿伝集落は勾配の緩やかな道が多いため車いす利用者にも楽しんでもらえる可能性が高い。他の集落についても道路勾配や路面の舗装状態によって可能性はあると考えられる。

(3) モニターツアー参加者意見

モニターツアーに参加した車いす利用者による訪問先や参加した体験プログラム等の評価を以下に示す。

①来島時：鹿児島空港～奄美空港への移動(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a) 搭乗時				
チェックイン			△	その他(お気づきの点など) 後方のシートを予約していたが、前方の入り口を使ったためシート変更
保安検査		○		
スムーズな移動		○		
b) 降機時				
スムーズな移動		○		その他(お気づきの点など) 特に問題なし。
手荷物の受取り		○		
ご意見・ご感想など 奄美空港は屋根付きの身障者用駐車スペースが2台分用意されており、使いやすかった。				

②奄美大島の観光と移動時：昼食～海岸散策(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a) 飲食店				
出入りの容易さ			△	その他(お気づきの点など) レストラン入口の階段にスロープが設置されていたが勾配が急で、一部表面に凸凹があった。
飲食のしやすさ		○		
トイレ			△	
b) 飲食店近くの海岸				
移動のしやすさ			△	その他(お気づきの点など) 駐車場から海岸まで複数の介助者が必要な段差あり。
観光の快適性		○		
ご意見・ご感想など 空港から車で10分に好立地で、食事、お土産、散策ができるのがメリット。車いすの場合、車の乗り降りは体力を使い煩わしいので、ワンストップでいろいろ楽しめるこのような場所はポイントが高い。 鶏飯の出汁がしっかり取れていて美味しかった。固形燃料でスープが冷めず、スープのお替りができたのも評価できる。				

③体験プログラム(秋名集落あるき)～宿泊施設(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a) 秋名集落あるき体験				
移動の容易さ			△	その他(お気づきの点など) コース内はほぼ平坦で、橋や水源、石垣など自走では走破できない傾斜があった。介助者がいれば問題なし。
アクティビティ内容		○		
説明の分かりやすさ	◎			
b) 集落の施設設備関係(荒波の宿り)				

トイレ		○			その他(お気づきの点など) 特に問題なし。
駐車場		○			
通路		○			
座席やベンチ		○			
c) 宿泊施設					
出入りの容易さ		○			その他(お気づきの点など) バリアフリールームは、ツインルームのベッドを一つ取り去った感じのレイアウト。客室内なバス・トイレを含め、ほとんど問題なかったが、ハンガーを掛けるバーの位置が高かった。大浴場は利用時間が短く、利用しなかった。食事会場は、車いすユーザーは利用しにくいバイキングだったが、スタッフが気づき、こちらの要望に合わせて取ってもらえたので助かった。
施設内の移動		○			
客室内の移動		○			
風呂(客室内)		○			
トイレ		○			
設備類		○			
食堂利用時		○			
ご意見・ご感想など					
<p>平瀬マンカイやショチョガマなど聞いたことはあったが、秋名集落は知らなかった。龍郷町役場から秋名へ続く県道 81 号線は、大河ドラマ「西郷どん」で描かれた西郷南洲流謫跡やドラゴンアイ、冬の荒波など見どころが多く、ドライブコースとして魅力的。集落歩きは、ガイドの村上氏の解説が秀逸。地元の人ではないだけに、自身で疑問に思った点を深掘りし得られた知見を分かりやすく伝えていただいたのが印象的だった。村上氏が感じた疑問点は、初めて訪問した私たちの視点と同じなので、多岐にわたるトリアは、私たちにとっても興味深いものだった。</p> <p>ホテルの一般客室(シングルルーム)はバス・トイレ入口の段差がなかった。扉の前の廊下幅や便座と扉の距離が短かったが、トイレやバスタブへの移乗が可能だった。バリアフリールームが空いていない場合も利用できると感じた。</p>					

④屋仁川の飲食店とまちなか(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a) 屋仁川のまちなかの移動					
移動の容易さ		○			その他(お気づきの点など) 特に問題なし。
路面の状態		○			
通行時の安全性		○			
b) 屋仁川の飲食店(居酒屋)					
出入りの容易さ		○			その他(お気づきの点など) 入口に 10 センチ程度の段差があるが、道路の下り勾配からの段差なので問題なし。小上がりの床面が高いため、移乗はやや困難。トイレは確認していない。
飲食のしやすさ		○			
トイレ	-	-	-	-	
ご意見・ご感想など					
<p>食いたい郷土料理、黒糖焼酎を完璧に揃えており、奄美を堪能できた。車いすで容易に入店できる地元の人気店を知ることができて良かった。コロナの影響で閉店が早く、2日目の夜に屋仁川に繰り出せなかったのが心残り。</p>					

⑤ マングローブパークのカヌー体験～古仁屋の昼食(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a) マングローブカヌー体験				
駐車場		○		その他(お気づきの点など) 駐車場からカヌー乗り場は、一部舗装工事の区間があり持ち上げてもらった。安全に乗り移れる浮棧橋は、秀逸。カヌーに足が入らず手間取ったが、スタッフが介助に慣れればさらに上手く移乗できると感じた。
移動の容易さ			△	
アクティビティ内容	◎			
説明の分かりやすさ	◎			
トイレ		○		
b) 古仁屋の昼食(海の駅 シーフードレストラン)				
駐車場		○		その他(お気づきの点など) せとうち海の家へのスロープ、2階へのエレベーターが設置されており、レストランへのアクセスは問題なし。
出入りの容易さ		○		
飲食のしやすさ		○		
トイレ		○		
ご意見・ご感想など				
<p>マングローブカヌーは、2009 年以来の来訪。以前は階段上から抱えてもらい水面に浮いたカヌーに移してもらったが、浮棧橋が設置されカヌーを固定したまま乗り込めるのは大きな安心感だった。3 か月ほど前に体験カヤックで転覆しているだけにカヌーの安定感が気がかりだったが、問題なかった。シートが固く褥瘡が気になったので、今回はバスマットを持参しようと思った。アクティビティー自体は素晴らしい。カヌーという非現実的な体験に加え、ガイドさんの詳しい説明聞きながらをマングローブ原生林を目の前で観察できる。車いすでも体験可能であることを広く知らしめてほしい。</p> <p>シーフードレストランは、古仁屋港、大島海峡、加計呂麻島を一望できるロケーションが素晴らしい。瀬戸内町特産の養殖黒マグロが味わえ、1階ではお土産を購入でき、車いす対応トイレも完備と、必要なものが一か所に集約されている。レストラン近くのマグロオブジェも車いすでアクセス可能。インパクトのある写真が撮れた。</p>				

⑥ ドライブによる観光と往訪先(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a) ホノホシ海岸				
駐車場		○		その他(お気づきの点など) トイレは、入り口前に傾斜があり、スライドのドアが開けにくかった。海岸へ続く坂道は、介助者がいれば走破可能。路面が木の枝に覆われている区間があり、少し走りにくかった。
トイレ		○		
園路の段差の有無		○		
勾配の緩急			△	
路面の状態			△	
全体的な安全性			△	
観光の快適性		○		
b) ドライブコース(古仁屋市街地～ホノホシ海岸) マネン崎展望所				
コース中の休憩場所		○		その他(お気づきの点など) マネン崎展望所はスロープで上がれるが、柵が高す
車内からの眺望		○		

観光の快適性			○		ぎて視界を遮り絶景を楽しめない。
ご意見・ご感想など 清水、嘉鉄、蘇刈とダイビングスポットを車からも眺められる。晴天なら抜群の景色だと思う。 マネン崎展望所はスロープまで設置しているのに柵が高すぎて残念。					

⑦ドライブによる観光と往訪先(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a) 油井岳展望台					
駐車場			○		その他(お気づきの点など) 車いす対応トイレがあるが、スペース内に手洗いが無い。 駐車場から展望台まで、2段以上の段差があり、2人以上の介助者がいなければたどり着けない。
トイレ			△		
園路の段差の有無				×	
勾配の緩急			△		
路面の状態			△		
全体的な安全性			△		
観光の快適性			○		
b) 高知山展望台					
駐車場	—	—	—	—	その他(お気づきの点等) 車中からだったので詳細はわからない。
トイレ	—	—	—	—	
園路の段差の有無	—	—	—	—	
勾配の緩急	—	—	—	—	
路面の状態	—	—	—	—	
全体的な安全性	—	—	—	—	
観光の快適性	—	—	—	—	
c) ドライブコース(古仁屋市街地～油井岳展望台)					
コース中の休憩場所	—	—	—	—	その他(お気づきの点など) 休憩はしていない。 特に問題なし。
車内からの眺望			○		
観光の快適性			○		
ご意見・ご感想など 油井岳展望所は標高が高く、大島海峡越しに加計呂麻島や与路島、請島まで見渡せる大パノラマ。 車いすでもアクセスできるよう整備を望む:					

⑧ナイトツアー(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a) ナイトツアー体験					
移動の容易さ			○		その他(お気づきの点など) ワンボックス車の座席が高いので、車いすからの移乗は留意。
アクティビティ内容	◎				
説明の分かりやすさ	◎				
トイレ			○		

ご意見・ご感想など

車に乗り込むことにより、車いすユーザーでも手軽に参加できる。確率は低いだけにアマミノクロウサギなど絶滅危惧種と遭遇した時は感激した。ガイドの説明もわかりやすく、ワクワクしながら参加できた。

⑨奄美空港から喜界島への移動(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a)搭乗時				
チェックイン		○		その他(お気づきの点など) 雨だったので、雨具を着せてもらい搭乗できた。
保安検査		○		
スムーズな移動		○		
b)降機時				
スムーズな移動		○		その他(お気づきの点など) 機内用車いすから自分の車いすに乗り換えたいが、空港スタッフは、機内用車いすからレンタカーに乗せようとする。
手荷物の受取り			△	
ご意見・ご感想など				
以前も屋久島空港で同じことをされたが、空港スタッフは、機内用車いすに乗ったまま外に止まっている車に乗せようとする。小さな空港ではありがちなのかもしれない。手荷物引換所で乗り換える旨を伝えると問題ない。				

⑩空港から宿への移動(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a)移動時				
自動車への乗換え		○		その他(お気づきの点など) ステップワゴンは座面がそれほど高くなくて、自力で乗車できた。
移動中の快適性		○		
ご意見・ご感想など				
特になし。				

⑪ゆいカフェ～大ガジュマル(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a)ゆいカフェ				
出入りの容易さ		○		その他(お気づきの点など) 特に問題なし。
飲食のしやすさ		○		
買い物のしやすさ		○		
駐車場		○		
トイレ		○		

b) 大ガジュマル				
移動のしやすさ		○		その他(お気づきの点など) 特に問題なし。
全体的な安全性		○		
観光の快適性		○		
ご意見・ご感想など ゆいカフェは、施設のデザイン、販売している物品、食事、バリアフリー全てが良かった。喜界島産の食材を楽しみながら、特産品を学べた。 ガジュマル巨木は圧巻。必見だと感じた。				

⑫ 体験プログラム(阿伝集落あるき)～宿泊施設(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a) 黒糖焼酎の酒造見学				
移動の容易さ			△	その他(お気づきの点など) 工場内に介助が必要な段差あり。 仕込樽へは階段があり車いすではアクセス不可。
アクティビティ内容	◎			
説明の分かりやすさ	◎			
b) 施設設備関係(朝日酒造)				
トイレ	—	—	—	その他(お気づきの点など) トイレは使用していない。
駐車場		○		
座席やベンチ	—	—	—	
ご意見・ご感想など もともと蔵めぐりが好きなので、大変興味深かった。雨が降って良かった。原料から仕込みまで、外内氏の解説がとにかく面白く、産地ごとの黒糖試食、醪の味見、原料や蒸留方法の異なる原酒の試飲でさらに理解が深まった。翌日訪れた本社での買い物も楽しかった。朝日酒造の商品に愛着を感じた。				

⑬ 体験プログラム(阿伝集落あるき)～宿泊施設(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a) 阿伝集落あるき体験				
移動の容易さ		○		その他(お気づきの点など) 特に問題なし。
アクティビティ内容	◎			
説明の分かりやすさ	◎			
b) 集落の施設設備関係(阿伝集落)				
トイレ		○		その他(お気づきの点など) 特に問題なし。
駐車場		○		
座席やベンチ		○		
ご意見・ご感想など サンゴ礁の石垣は、サンゴとともに生きる島民の知恵。その街並みをガイドの説明を聞きながら実際に歩くことで実感できた。ガイドの説明は大変わかりやすかった。				

⑭喜界町の宿泊施設と飲食店(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a) 宿泊施設				
出入りの容易さ		○		<p>その他(お気づきの点など)</p> <p>客室内のバス・トイレの入り口の段差が高く、使用するのに苦労した。一旦スポンジを引いて床に座り、便座へ移動。大浴場の折り畳み丸椅子に移乗してバスタブに入った。危険がともなう入浴方法なので、車いすユーザーが問題なく利用できたことにしてほしい。</p> <p>大浴場は跨ぎ込みの高さ(床とバスタブの縁の高さ)が高く、床に下りる方法では使用できない。浴室用車いすがあれば利用できるかもしれない。女性用大浴場は湯が出なかったらしい。フロントのトイレは小便器までは行けたので、収尿器の尿は捨てられた。客室トイレは洗面も困難なので、朝の洗面はフロントのトイレを使用した。</p> <p>客室内の照明スイッチが枕元にあるが、スイッチに手がとどかないベッドがある。一つのスイッチで真っ暗になるが、枕元の照明が無いので不便。ベッドサイドにコンセントが無く、寝ながら携帯の充電をするのに持参した延長コードを使用した。</p>
施設内の移動		○		
客室内の移動		○		
風呂(客室内)			△	
トイレ(客室内)			△	
設備類			△	
食堂利用時		○		
b) ホテル周辺のまちなかの移動				
移動の容易さ		○		<p>その他(お気づきの点など)</p> <p>ホテルが平坦な場所にあったので、問題なかった。</p>
路面の状態		○		
通行時の安全性		○		
c) ホテル周辺の飲食店				
出入りの容易さ		○		<p>その他(お気づきの点など)</p> <p>トイレは使用していない。</p>
飲食のしやすさ		○		
トイレ	—	—	—	
<p>ご意見・ご感想など</p> <p>車いすユーザーにとって、客室の広さは評価できるが、バス・トイレが利用しにくかった。ユニットバスの入り口の段差は、この宿泊施設に限ったことではなく、国内のビジネスホテルの多くはこのタイプ。事前にわかっていたら、別な宿舎にするなどできるため、宿泊施設は、客室のレイアウトや段差を写真等で公開してほしい。</p>				

⑮喜界島サンゴ礁科学研究所(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a)喜界島サンゴ礁科学研究所				
駐車場		○		その他(お気づきの点など) 入口に介助者が必要な段差あり。 トイレは一般用のみで、収尿器の尿は捨てられた。
アクセスの容易さ			△	
入口の段差の有無			△	
全体的な安全性		○		
見学のしやすさ		○		
説明の分かりやすさ	◎			
展示の内容	◎			
トイレ			△	
ご意見・ご感想など				
サンゴ礁が隆起してできた島だけに、その成り立ちを知る上で欠かせない施設だった。研究機関としても多くの大学等が研究者を派遣しており、官民一体となって展開する諸々の取り組みも意義深いと感じた。わかりやすい解説を聞き、質問にも答えていただいたので理解度が増した。研究所とともにカフェも魅力的なので、アクセシビリティを向上させ、営業日を増やしてほしい。				

⑯百之台～テーブルバントのドライブコース(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a)百之台～さとうきびの一本道～東経130度線モニュメント				
コース中の休憩場所	—	—	—	その他(お気づきの点など) 百之台公園は展望所が階段だったので車をおりなかつた。
車内からの眺望	◎			
観光の快適性	◎			
b)ドライブコース(百之台～さとうきびの一本道～東経130度線モニュメント～湾市街地)				
コース中の休憩場所	—	—	—	その他(お気づきの点など) 特に問題なし。
車内からの眺望	◎			
観光の快適性	◎			
ご意見・ご感想など				
阿伝から蒲生集落を経由し百之台へ上がったが、サンゴ礁研究所でサンゴ礁段丘について学んだばかりなので感慨深かった。百之台公園は車いすで行きにくいですが、車中からでも絶景を見ることができた。さとうきびの一本道は、実際に行ってみることで、人気の理由がわかった。東経130度線モニュメントは、地図好きなら行きたい場所。この日は風が強かったが、荒波は迫力があつた。				

⑰喜界空港～鹿児島空港への移動(※利用が無い場合は項目横に「なし」とご記入ください。)

a)搭乗時				
チェックイン			△	その他(お気づきの点など) 介助者が必須の機材だったため、あやうく搭乗できなくなるところだった。
保安検査		○		
スムーズな移動		○		

b)降機時				
スムーズな移動		○		その他(お気づきの点など) 特に問題なし。
手荷物の受取り		○		
<p>ご意見・ご感想など</p> <p>使用機材は ATR42-600。この区間だけでなく離島便の小型プロペラ機は、車いすユーザーひとりでは乗せてくれない(搭乗券を売ってくれない)。</p> <p>今回は、同じ便に搭乗する人を「みなし介助者」として、ひとりで搭乗できた。みなし介助者を依頼する交渉は、空港窓口が行い、乗れるようになった旨、電話連絡があった。</p>				